

アスレチックリハビリテーション～基礎編

乙訓高等学校ではスポーツ健康科学科を中心として高校と大学が連携した高大連携授業、企業の研究者の方をお招きして講演会を行う産学連携授業などの授業を展開しています。

日時：令和8年1月15日（木）

対象：スポーツ健康科学科1年生（39名）

内容：「アスレチックリハビリテーション～基礎編～」

講師：京都九条病院リハビリテーション科 海江田 武先生

リハビリテーションには機能回復を目的とした「**メディカルリハビリテーション**」と、不安なく競技復帰を果たすための「**アスレチックリハビリテーション**」があります。

授業の前半は医療系の仕事には様々な仕事がありますが、今回は理学療法士（PT：Physical Therapist）に焦点をあてて、「仕事内容は？」、「どのような学びを経て理学療法士になるのか？」、「適性は？」について、後半はアスレチックリハビリテーションの基礎について詳しく解説していただきました。

メディカルリハビリテーションは機能回復以外に、「こういうことが出来るようになりたい」などの患者の心の充実に向けたサポートを併せて行うことが大切です。

アスレチックリハビリテーションは形は違えど、選手の競技復帰も同様に、選手のしたいプレー、勝ちたい試合にむけて、心身を高めていくリハビリを通じて、そのお手伝いをしていく感じです。リハビリテーションの本質に迫る内容で、日々の体験を通じた継続した学びの大切さを知ることが出来ました。



